

## 4円で買ったもの

洪 艶 艶  
HONG YAN YAN

たった4円で皆さんは何が買えますか？普通の人なら何も買えないと思うでしょう。実は私もそう思っていました。

私の会社は秋田にあります。会社には、私達研修生の他に中国人はいません。実習生の先輩もいません。ですから私達6人はいつも団結し、協力しながら生活していました。

私達はいつも毎週土曜日に買い物に出掛けます。スーパーへ行く道路は昼間でも静かで、私達の靴の音だけしか聞こえません。スーパーに来ているお客さんも少しだけです。私達は2人で6人分の食べ物を買うので、カゴの中はいっぱいになります。でもたとえ大変でも買い物は気持ちがいいものです。重い荷物を持ちながら帰る時、外の新鮮な空気や故郷に似た山の景色が、私達を軽くしてくれます。

でもある日の帰り道、私はスーパーでおつりをもらい忘れたことを思い出しました。財布の中に仕舞ったレシートを見ると、忘れたおつりはたったの4円です。今からスーパーに戻ろうか、でも日本語で何と言っていいのかわかりません。その時私は4円では何も買えないので、わざわざ戻らなくてもいいと思ったのです。

それから1ヶ月が過ぎ、私はしばらく振りにあのスーパーへ買い物に行きました。買い物が終わって帰ろうとすると、後ろから「そこの中国人の人、ちょっと待って」という声でした。私達はびっくりして振り返りました。する

と50歳位のおばちゃんがニコニコしながら私達を見ていました。おばちゃんは小さな袋を取り出して「これは先月、あなた達が忘れた4円です。どうぞ」と言って私達にくれたのです。私はもうそんなことなどすっかり忘れていました。でもおばちゃんは、ちゃんと私達のことを覚えていたのです。私はおばちゃん的笑顔と、もらった4円を見て少し恥ずかしくなりました。でもすぐその気持ちは感動に変わりました。何と言っていいのかわからなくなりました。結局「ありがとうございます」とだけしか言えませんでした。私はその時「誠実」という言葉が頭に浮かびました。

私は会社に来た頃、日本語を話すことに怖さを感じていました。言葉の意味が分からず、帰りたいたとさえ思っていました。そんな気持ちのまま研修を受けていた私は、決して誠実ではなかったと、その時強く感じました。

それから私は研修以外の時間も無駄にしないよう、積極的に日本人と話すように心掛けたのです。身振りや手振りを使えば何とか通じることも分かりました。今では日本語に何の怖さも感じません。これからの2年はもっと真面目に勉強して、秋田の人と同じ優秀な人になるように努力するつもりです。

たった4円で何が買えますか？私は4円で「誠実」という大事なものを買うことができました。